

浜黒崎海岸自然調査のあらまし

調査のねらい

富山市科学文化センターでは、市内の自然の調査の一環として浜黒崎海岸を調査しました。この地域の自然については昭和53年～55年度に調査が行われましたが、その後10年が経ちましたので、再び、調べたものです。

なお、今回は調査範囲を岩瀬浜まで広げ、河川や酸性雨等の項目を追加しました。

期 間

平成2年度、年4回（5，7，10，1月）の一斉調査と項目ごとに補充調査を行いました。

調査地点

常願寺川河口から、岩瀬浜まで調べましたが、そのうち、特に重点を置いたのは下の地図に示す7ヶ所でした。

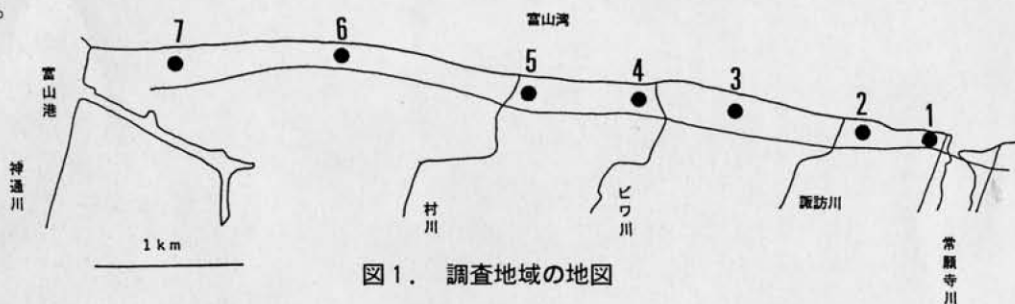


図1. 調査地域の地図

1. 横越 2. ユースホステル裏 3. 浜黒崎小学校裏 4. 日方江東 5. 日方江 6. 大村
7. 岩瀬浜

調査項目と調査者

植物	太田 道人	科文セ	鳥類	日出島哲夫	富山県野鳥保護の会
昆虫	瀬川 哲夫	山室小学校	魚類	福田 保	富山女子高校
	根来 尚	科文セ	魚類等	南部 久男	科文セ
貝	宮本 望	科文セ	水質等	朴木 英治	科文セ
小動物	布村 昇	科文セ	ほ乳類	山本 茂行	富山市ファミリーパーク

このほか広瀬栄夫さん、高島利男さん、富山市ファミリーパークの方々、全国の大学や博物館の多くの先生方の協力を得ました。

調査結果のあらまし

項目ごとの結果は次に記しますが、全体として、

- ・海中は侵食防止のための波消しブロックがたくさん置かれ、一部は海浜そのものがコンクリートで護岸されてきました。しかし、全体に魚貝類の種類は10年前と大差はありませんでした。
- ・海浜は、護岸の建設等がありましたが、海浜植物やそこに来る昆虫の種類数は減少していないようです。
- ・松林の林内は、サイクリングロードの建設等により、10年前にくらべ、明るくなった場所が多いようです。また、都市化のためか、帰化植物の増加が見られました。